

セヴェルスク閉鎖都市内の水資源の環境保護活動
(トミ (Tom)川、特別保護自然地区「サムスイ (Samus) 町の複数の湖」)

- 1 自治体名：ロシアトムスク州
- 2 発表者名：エカテリナ・ガラニナ (Ekaterina Garanina) 第 80 号総合学校 11 年生、
ポリナ・トゥピキナ (Polina Tupikina) 第 80 号総合学校 10 年生、
ヴェラ・マカレヴィッチ (Vera Makarevich) 第 84 号総合学校 9 年生
(指導者：M. アンドリシク (Andolshik)、O. ポルシナ (Polushina))
- 3 活動期間：2016 年 9 月－10 月、2017 年 4 月－5 月
- 4 活動名：川岸・湖岸の清掃活動、自然保護啓発活動
- 5 活動場所：トムスク州セヴェルスク (Seversk) 閉鎖都市
- 6 活動参加人数：約 1,000 名
- 7 活動を始めた経緯：汚染から水領域を守るため
- 8 発表要旨：
環境問題に関心を集めること及び環境状況を改善する目的で、ロシアでは 2017 年は環境と自然保護区の年として宣言された。水資源も保護対象となっている。

トムスク州は西シベリア平原の南東に位置している。州の大部分は森林や世界最大の沼地の一つヴァシュガンスコエ沼地に覆われている。州には大きなオビ川が流れ、その支流の一つであるトミ川にセヴェルスク市が位置している。

セヴェルスク市は、原子力発電所連盟に加盟しており、大きな閉鎖都市*の 1 つである。

(*閉鎖都市：軍事産業または原子力・核兵器に関する産業などが存在するため、旅行や居住が制限されている都市)
セヴェルスク市は緑があふれるきれいな町で、生活しやすいところである。町では環境問題に大きな関心が払われている。2015-2020 年長期計画の「セヴェルスク市周辺の自然保護」というプログラムが実施されている。

セヴェルスク市周辺には特別保護地区である「サムスイ町の複数の湖」が位置している。その中には、マリツェヴォ湖 (Mal'tsevo)、オクネヴォエ湖 (Okunevoe)、ヤコヴォ湖 (Yakovo) という三つの湖が含まれている。この地区には特別な価値があり、レクリエーションと研究の場所として知られている。

近年、天気の良い日に川と湖の岸で休暇を過ごす人が増え、スポットとしての人気が高まっている。そこでは、セヴェルスク市の住民だけではなく、トムスク市からの人々も休暇を過ごしている。残念ながら、利用者の中にはごみを残す、木を折る、焚火の後始末をしないという人もいる。

このような行動を防止するために、セヴェルスク市では小中高生が積極的に参加している自然保護啓発活動が行われている。15 年間に毎年 9 月から 10 月にかけて、エコアクション「クリーン川岸・湖岸」が行われている。秋の清掃活動が特に大事である。なぜならば、雪の下に残ったごみは春には、雪解け水と一緒に川に流れ込むからである。

2016年には、セヴェルスク市の海岸からガラス破片を取り除く運動に150人以上の生徒、教員、NPO団体のメンバー、その他の住民が参加した。その清掃活動の結果として、48 m³のごみが回収された。このような清掃は、サムスイ学校のボランティアが活動しているサムスイ町でも行われている。

清掃活動と並び多くの普及啓発教育活動も実施されている。市役所、文化施設などの専門家を招いた会議や環境問題、水資源保護に関心を集める目的のフェスタなどが実施されている。これは、エコアクションの普及啓発としての役割が大きい。例えば、4月18日から23日にかけてサムスイ町で行われた「アースデイ」での緑化活動には、500人以上の人が参加した。活動の枠組みの中で集会、チラシ配りのエコフラッシュモブが行われた。

テレビ、ラジオ、インターネット、教育機関の新聞などでは、地元のマスメディアによって自然保護活動が広く報道される。また、サムスイ学校の「ワンダーランド」新聞では、「グリーンページ」、「環境に関する基礎教育」の欄が常に記載されている。

自然保護は現代社会の中の重要な課題の一つである。私たちは天然資源の保護、他の人への参加の呼びかけ等をしなければならない。そうすることによって、このすばらしい世界を守ることができるでしょう。